

【次世代育成】教育に手を携え、より良い未来を共に築く ——持続可能な発展講座



2024年6月18日、広州伊藤忠は持続可能な開発目標（SDGs）へのコミットメントの下、広東実験中学荔湾学校（中等部）で持続可能な発展のための講座を開催しました。この活動は、持続可能な発展に対する意識がキャンパスに深く根付くことを意図したものです。今回のイベントでは、持続可能な発展の概念を説明し、実際の事例やアニメを通じて環境問題の厳しさと緊急性を伝えました。

講座や討論を通じて、約300人の教師と生徒のSDGsへの理解を深め、健康や環境保護に対する意識の向上を促しました。食べ物の浪費を減らしたり、環境保護活動に積極的に参加するなど、日常生活でもできる低炭素で環境に優しい生活の実践を推奨し、持続可能な発展の積極的な支持者になってもらえるよう努めました。より繁栄し、持続可能なコミュニティや都市を築くために、参加者一人ひとりが貢献してくれることを期待しています。



満席の講堂会場



学校に寄贈された図書

【次世代育成】気候変動に注目—Kids Day

2024年度7月-8月の夏休み、伊藤忠は予定通りKids Dayを開催し、「次世代育成」を目的とした社会貢献活動として、青少年の環境保護理念の向上と健康安全知識の育成をテーマにしました。北京伊藤忠、大連伊藤忠、上海伊藤忠、広州伊藤忠はSDGs「気候変動」講座の実施しました。それだけではなく、名刺作成&名刺交換などのビジネスマナー講座と体験、古展望台、气象台見学、公共安全教育実訓基地体験、食品製作工場見学、鉄道博物館見学、公益活動—書類寄付など、多彩な活動を実施しました。活動を通じて、子供たちは持続可能な発展の概念を学ぶとともに、SDGsの各項目の内容を深く理解しました。同時に、活動は従業員の子供に両親の仕事内容や職場環境を理解させ、家族との交流を通じて、従業員の満足度と帰属感が向上しました。今後もこのような有意義な活動を続けてまいります！



食品製造工場見学



鉄道博物館見学



气象台見学



ビジネスマナー講座と体験



展望台見学



気候変動講座



公共安全教育実訓基地体験

【環境保全】歩くごとに「木を！」——ウォーキングイベント

2024年9月、第6回全社ウォーキングイベントを予定通りに開催しました。低炭素外出、グリーンライフスタイルを提唱し、社員の運動習慣作り及び健康管理意識を高めてもらうことを目的とします。SDGsへの貢献・取組強化の活動の一環として、今年も従業員から大きな支持を得て、計331人が参加し、278人が達成し、84%の達成率が過去最高を記録しました。



伊藤忠公益林

「歩くごとに木を」という活動テーマに基づき、all-ICNの名義で、中国緑化基金会在主催する「幸福の家——希望の木を植える」プロジェクトに参加しました。伊藤忠はこの大型植林事業に参加する唯一の日本商社として、寧夏回族自治区にクコの木1000本を寄付し、農村の発展と土地の砂漠化防止に貢献しました。



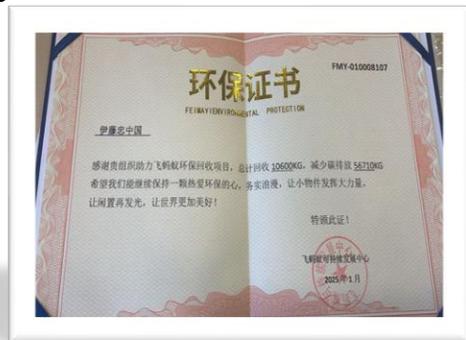
2024年度伊藤忠中国全社ウォーキングイベント
植樹寄付【証明書】



【環境保全】資源は有限であり、循環利用は無限

伊藤忠はサステナビリティを企業の果たすべき責任と捉え、「資源は有限であり、循環利用は無限」という考えを踏まえ、毎年各地の公益機関、環境保護リサイクルプラットフォームなどに資源回収リサイクル、愛の公益寄付などの社会貢献活動を行っている。

2024年、伊藤忠グループ各社の努力により、飛蟻環境保護回収プラットフォームに古着10600 KGを回収。



教育物資の精密な寄付

絵本の寄付

实际捐赠**10,600 kg**旧衣

1kg旧衣回收：
可降低**5.35kg**碳排放，相当于节约**6.82**度电，节约**5.88**立方水

节约了 **72292** 度电

节约了 **62328** 立方水

减少了 **56710** Kg碳排放

水是生命之源
请珍惜每一滴水



中古品の回収



回収される封筒の回収



事務用電気製品の回収



【地区貢献】働きがいのある職場環境の整備 ――従業員の健康を大切にする一連の活動



伊藤忠は従業員の健康に関心を持ち、2024年度は持続可能な発展のための重要課題である「働きがいのある職場環境の整備」を踏み、従業員の健康を向上させるために、従業員の健康を大切にするシリーズを展開しました。



<< 【八段錦】

2024年5-6月、上海伊藤忠は従業員の健康力向上を目的に、[八段錦]イベントを3回実施しました。合計68名の従業員が参加し、参加者からは好評を受けました。



<< 【Ai運動】

Aiがさまざまな分野で広く応用されるにつれ、人工知能技術はフィットネスに新しい体験をもたらしました。この流れに対応するため、2024年6月、伊藤忠中国の各現法において第1回Ai運動を開催しました。運動を続けることで、健康習慣や健康管理意識を醸成することを目的としています。運動を通じて、心身を鍛え、仕事への活力を増進します。



【目の健康公益活動】

2024年9月、青島伊藤忠は専門眼科病院の医療スタッフを招いて「瞳を輝かせ」をテーマに従業員の目の健康のための公益活動を展開しました。この活動では、医療スタッフが先進的な目の検査機器を利用して従業員のために全面的で入念な検査を行うと共に、専門的な眼病予防知識普及の講座を提供しました。

【正念課程】 >>

2024年10月-11月、広州伊藤忠は資格を持っている外部講師を招聘し、従業員に対して1ヶ月に亘り合計5回の正念課程を行いました。講師は瞑想、共情、没入などの有効なツールを利用して、自分の感情を理解し、感情を受け入れること、それを通じて感情を変える方法を説明しました。自分の感情の調節を実現し、ストレスを緩和することで、心の柔軟性を高め、仕事の効率を高めることができます。



【職場体操】 >>

2024年11月から、北京伊藤忠は職場体操を導入しました。毎日11分間の運動を通じてより元気に仕事に取り組めるようになり、従業員から歓迎されています！





【地区貢献】SDGs写真コンテスト

2024年2月、伊藤忠中国は第3回SDGsテーマ写真コンテストを開催しました。身の回りにあるSDGsにちなんだ風景を撮影することで、地球環境を持続的に改善することの重要性を意識することを目指しています。SDGsのすべての環境関連目標をテーマに、合計54作品の応募がありました。さまざまな環境問題に対する従業員たちの思いが、それぞれの角度から表現されていました。従業員が投票により「人気賞」を選出し、各現法の審査員たちが専門的な視点から「審査員賞」を選出しました。この活動を通じて、従業員のSDGsに対する認知が深まっただけでなく、地球を守ることを身近に感じ、住み続けられるまちづくりを構築するためには、自らが行動しなければならないことを実感することが出来ました。

